



第140回 令和4年度 春季愛知県新人バドミントン大会

今大会は、小規模化のため単複どちらか1種目の出場に限定して、4月2日(土)に男女シングルスをドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)で、4月9日(土)に男女ダブルスを稲永スポーツセンターで行った。男女ともジュニア選手の活躍が目立ち、将来が期待される大会になった。



男子シングルス 優勝
樋 彪斗(はりーあつぷJr)



男子ダブルス 優勝
(左)岡田和也(右)河合壮彦
(JumSma・SOUTHBLUE)



女子シングルス 優勝
小澤 芽依(はりーあつぷJr)



女子ダブルス 優勝
(左)鈴木里渚(右)加藤日葵(中部中)

種 目	優 勝	準優勝	三 位		参加数
男子単	樋 彪斗 (はりーあっぷJr)	砂子 甲斐斗 (フレスカ)	浅野 丈徳 (尾北高)	三ツ石 幸太 (はりーあっぷJr)	93
男子複	河合 壮彦/岡田 和也 (JumSma・SOUTHBLUE)	阿部 真彦/鈴木 智也 (たまひよくらぶ・東海シャトルズ)	三島 将/門脇 全 (ブラザー工業・三菱重工名古屋)	神之田 星斗/神谷 真徹 (KEPPARE)	56
女子単	小澤 芽依 (はりーあっぷJr)	馬場 こころ (はりーあっぷJr)	小林 色葉 (福地中)	縣 明日香 (はりーあっぷJr)	56
女子複	加藤 日葵/鈴木 里渚 (中部中)	廣田 果保奈/川島 千奈 (中部中)	鶴見 璃夏/尾崎 一華 (岡崎Jr)	井上 有華/小松 華連 (RHBT・ほちぼち)	24

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 朝倉 康善



今年度は3つの全国大会が県内で開催されます。最初の大会が8月13日・14日に名古屋市守山スポーツセンターにて開催される「第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」です。この大会は学生ミックスダブルスの強豪選手が集い、全国ナンバー1を決める大会です。昨年までは首都圏を中心に関東エリアで開催されていましたが、今年度より関東、中部、関西学連の持ち回りとなり、その初回が中部学連主管として名古屋で開催されることになりました。現在担当の学生諸君が総力を挙げて準備にあたっております。ミックスダブルスは東京五輪で日本代表選手が銅メダルを獲得し、全国でも関心の寄せられている種目でもあります。是非とも大会を成功させるべく支援を進めてまいります。

また、今年度の活動として第3次の基盤強化活動に取り掛かっております。過去に2度この活動を展開し、本会主管大会の在り方や、各種の運営方法の抜本的な見直しなどを進めてきました。今回も各委員会から日頃の課題と受け止めているテーマを抽出し、いつまでにどう対処するかの議論を重ねております。時間のかかる課題も多いですが、本会の活動が一層レベルアップできるよう改善を図っていきます。こうした活動にも是非ご意見をいただきたく思います。



年次総会の開催

令和3年度愛知県バドミントン協会年次総会が、令和4年3月27日(日)刈谷市産業振興センター会議室において79名の出席のもと開催された。

総会開始に先立ち、特別功労賞1名、功労賞1名、特別技能功労賞1名、技能功労賞1名の表彰があり、また、賛助会奨励賞が7名と2団体に対して渡された。総会は、事業報告に続き、各専門委員会、各加盟団体の報告があり、協議事項では、協会事業計画および専門委員会の事業計画が提案され、決算・予算案共に承認された。



山田副会長挨拶

令和3年度愛知県バドミントン協会表彰

■特別功労賞

藤井 珠生(岡崎城西高校 監督)

■功労賞

間瀬 孝子(愛知県小学生バドミントン連盟 理事)

■特別技能功労賞

久湊 菜々(岡崎城西高校)

令和3年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会
高松宮記念杯第72回全国高等学校バドミントン選手権大会 個人対抗単女子 優勝
第49回全国高等学校選抜バドミントン大会 個人対抗単女子 第3位

■技能功労賞

市川 和洋(JTEKT)

第75回全日本総合バドミントン選手権大会 混合複 第3位

■賛助会奨励賞

久湊 菜々(岡崎城西高等学校)

令和3年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会
高松宮記念杯第72回全国高等学校バドミントン選手権大会 個人対抗単女子 優勝

市川 和洋(JTEKT)

第75回全日本総合バドミントン選手権大会 混合複 第3位 ※パートナーは他県所属です

池田 純一郎(はりーあっぷジュニア/大府市立吉田小学校)

第30回全国小学生バドミントン選手権大会 男子複6年生以下 第3位

石川 隼(はりーあっぷジュニア/刈谷市立小垣江小学校)

第30回全国小学生バドミントン選手権大会 男子複6年生以下 第3位

河村 珠莉奈(びわじまBC/名古屋市立枇杷島小学校)

第30回全国小学生バドミントン選手権大会 女子単5年生以下 第3位

青山 大都(はりーあっぷジュニア/刈谷市立かりがね小学校)

第30回全国小学生バドミントン選手権大会 男子複4年生以下 第3位

米谷 奮人(はりーあっぷジュニア/知多市立新知小学校)

第30回全国小学生バドミントン選手権大会 男子複4年生以下 第3位

愛知県チーム

第20回日本バドミントンジュニアグランプリ2021 男子団体 第3位

監督 中口 竜郎

選手 富田 万南斗(名古屋経済大学市邨高等学校)

長束 翔太(稲沢市立治郎丸中学校)

石川 隼(刈谷市立小垣江小学校)

NOCK

第37回若葉カップ全国小学生バドミントン大会 女子の部 第3位

監督 池上 信之

選手 二反田 稟花(大府市立吉田小学校)

松久保 ひかり(名古屋市立枇杷島小学校)

河村 珠莉奈(名古屋市立枇杷島小学校)

大串 恋々奈(春日井市立小野小学校)

万年 美澄(大府市立東山小学校)

北野 瑛那(大府市立石ヶ瀬小学校)



総会の様子

令和4年度愛知県バドミントン事業計画

- ア. オール愛知の精神のもと、国民体育大会と第1種大会でのメダル獲得を目指す
- イ. 本県からのジュニアナショナルチーム入りの一層の推進と、次世代指定選手の発掘・育成を図る
- ウ. ジュニア指導者の養成拡大と、中学生選手の育成・強化の環境を整備する
- エ. 普及活動の一環として、情報発信のあり方を見直し、見る嬉しさを追求する
- オ. 第65回全日本社会人バドミントン選手権大会を円滑に開催する
- カ. バドミントンS/Jリーグ2022を円滑に開催する
- キ. 第10回全日本学生ミックスダブルスバドミントン選手権大会の円滑な開催を推進する

ゴールデンウィークカップ2022 in 愛知

S/Jリーグ1部所属のジェイテクトチームが主催する「BADMINTON GOLDENWEEK CUP 2022 in AICHI」が、5月3～4日に、ジェイテクト体育館で開催されました。S/Jリーグ1部の男子チームの中から9チームが集結。男子シングルスと男子ダブルスの個人戦2種目をリーグ戦&トーナメント方式にて実施し、無観客での開催につき、試合はジェイテクト公式YouTubeチャンネルよりライブ配信されました。
(後援：愛知県バドミントン協会)

◆参加チーム

- ・NTT東日本 ・BIPROGY(旧・日本ユニシス)
- ・日立情報通信エンジニアリング ・三菱自動車京都 ・東海興業
- ・東北マックス ・丸杉 ・豊田通商 ・ジェイテクト

◆シングルス優勝 田中湧士

昨年の全日本総合王者・田中湧士(NTT東日本)が優勝を飾った。決勝戦は同チームでB代表同士でもある古賀穂との対決にストレートで勝利し、総合王者の意地を見せた。



田中湧士選手

◆ダブルス優勝 西川裕次郎・馬屋原大樹 組

準決勝でジェイテクトの小林晃／宮嶋航太郎を2-1で破ると、決勝戦でも緒方友哉／柴田一樹(NTT東日本)にファイナルゲーム勝負の末に競り勝った。予選リーグを含めて5試合のうち4試合がファイナルゲーム。激戦に次ぐ激戦を制して頂点にたどり着いた。



(左) 馬屋原大樹選手 (右) 西川裕次郎選手
(ジェイテクト・NTT東日本)

(広報委員長 上枝 伸)

◆馬屋原選手

トップチームが集結する中で、日本代表選手との急造ペアでしたが、試合を重ねていくにつれてパートナーに助けられながらも、自分のパフォーマンスをうまくあげていき、優勝することができました。コロナ禍で大会が中止されていく中で交流戦とは言え、本番と同じ緊張感で試合ができたことは本当によかったです。西日本工業大学(ライブ配信支援)、参加チームの関係者、各メーカーの皆様には感謝しかありません。この経験を次の大会、自分の成長に活かしていきます。

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

はリーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

バドミントンプロショップ
リーダーズ グループ

SINCE1979

(有)リーダーズ

代表取締役 菱田修光

TEL・FAX(052)703-2767

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分



明日へ駆ける



全国高等学校総合体育大会(インターハイ)県予選

総体予選愛知県大会が5月21日(岡崎中総体、北SC)、22日(岡崎中総体、緑SC)、28日(枇杷島SC、メディアスおおぶ)の3日間にわたり開催された。高校部活の集大成として挑む選手たちにより連日熱戦が繰り広げられた。

○男子学校対抗戦 名経大市邨の完全優勝

名経大市邨が1回戦から決勝まで1ゲームも落とさずに圧倒的な力を示して優勝旗を抱いた。1複の永森・近藤、2複の富田・森田、1単の寺西のオーダーで挑んだ決勝の岡崎城西戦でも圧巻の試合運びを見せた。全ての試合において先手先手を打ち、常に主導権を握りながら危なげなくストレートで勝利をつかんだ。主将の富田は「新人戦の時よりも余裕を持って試合を展開でき、自分たちの成長を感じることができた。インターハイではこれまで何度も苦しんだベスト4の壁を何とか打ち破りたい」と話した。



男子 名経大市邨

○女子学校対抗 今回も2強 名経大市邨vs岡崎城西

1複の河辺・尾形(市邨)vs岡本・小笠原(城西)、2複の中上・前田(市邨)vs高野・山内(城西)の戦いが2面同時展開でスタート。1複は21-17、21-8、2複は16-21、21-16、25-23の接戦を市邨が勝ちとった。1複が先に終わったコートで1単が始まる。向井(市邨)vs伊藤(城西)の1年生対決である。



女子 名経大市邨

ファイナルゲームまでもつれこむうちに2単の尾形(市邨)vs小笠原(城西)が21-11、21-8で勝ち、3-0で市邨が制した。(2単終了の時点で1単は21-23、21-19、9-8で打ち切り。)

「コロナで練習できなかった時もあったけれど、インターハイベスト4を目標にして頑張ってきました

種目	優勝	準優勝	第3位
男子学校対抗	名経大市邨	岡崎城西	愛工大名電
男子複	富田・森田(市邨)	鈴田・岡島(城西)	永森・近藤(市邨)
男子単	富田(市邨)	永森(市邨)	寺西(市邨)
女子学校対抗	名経大市邨	岡崎城西	星城
女子複	河辺・尾形(市邨)	中上・前田(市邨)	山田・坂(市邨)
女子単	尾形(市邨)	河辺(市邨)	向井(市邨)

た。今日はその通過点で、無事に優勝できて良かったです。次は東海大会の優勝を目標に頑張ります」と河辺が語った。

学校対抗戦の優勝校と個人2位までの選手は徳島県で行われる四国総体、団体3位までは東海大会に出場する。今後の上位大会での活躍が楽しみである。

(高体連 大村悠介、上出美佳)

テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ

NONAKA

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。

YONEX

第38回 若葉カップ全国小学生大会 愛知県予選会

GWに突入した4月30日(土)メディアス体育館おおぶにて開催されました。コロナ禍で一昨年度は中止、昨年度は人数の縮小でしたが、今年度は3年ぶりに正規に戻り、多数の参加団体で多くの選手が頑張りました。

男子決勝は、西尾ジュニアvsはりーあっぷジュニア。どちらも譲らず2勝2敗で迎えた最後の試合。任されたのは、5年生シングルス玉城選手(西尾)vs花堂選手(はりー)。素早いフットワークでネットの前の早い打点からゆさぶりをかける玉城選手は、左手からの切れ味のあるカットを左右に打ち分ける花堂選手に対し、クロスヘアピンや深いロビングで守り切り、西尾ジュニアが全国大会への切符を手に入れました。

女子決勝は、はりーあっぷジュニアvsT-Jump Jr.。どの試合も長いラリーが続くが集中力を切らすことなく終始リードしたはりーあっぷジュニアが3-0で勝利しました。

(小学生連盟 鈴木由紀江)



西尾ジュニア



はりーあっぷジュニア

★愛知のホープ★

なつかしょうた

長束 翔太 (稲沢市立治郎丸中学校3年生)



小学生の頃より全国の選手を相手に活躍をしてきましたが、3月に行われた全日本中学生バドミントン選手権大会に、愛知県選抜チームのキャプテンとして出場しました。チームの柱としてのプレッシャーも跳ね除け、持ち前のメンタルの強さとスピードを活かし、シングルス、ダブルス、ミックスダブルスと全ての種目で活躍しました。5月に行われた県大会では優勝を勝ち取りました。

また、U16のジュニアナショナルチームにも選抜されています。常に驕らず、何事にも真面目に取り組む姿勢は、進化し続ける土台となっています。是非、今後の活躍に期待してください。

(愛知県バドミントン協会 中体連強化委員 石原健太郎)

勝つための本物

GOSEN®
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741

西三河のバドミントン専門店

モリタスポーツ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

豊田自動織機

を紹介します。

同じ会社の仲間ながら、所属工場、職種や階級もバラバラで、10代～60代と幅広い年齢層のメンバー10余名で活動しています。毎週火・金の終業後～21時と、土・日の9時～13時を練習時間としていますが、平日は業務優先で集まりが悪いため、週末練習を大切に活動しています。通常は刈谷本社の体育館で練習していますが、ここをワクチン職域接種会場として利用している間は、少し狭いですが大府工場の体育館で練習しています。コロナ禍で様々な制限がかかるなか、衛生対策をしながらも練習ができる恵まれた環境に感謝して日々プレーしています。



愛知県実業団リーグには実力に応じてA・Bの2チームが出場しています。Aチームは1部リーグに参戦しており、一部の例外を除き若手中心のメンバー構成で戦っています。国内屈指の実力を持つチームを相手に苦戦が続きますが、毎試合得られる課題を練習にフィードバックし、上位入賞を目指しています。Bチームは2部リーグで圧倒的な平均（高）年齢を誇るシニア中心のチームですが、体を労りながらも知恵と技術を生かしてのプレーが光ります。県社会人や全日本シニアなどの年代別種目でも多くの選手が活躍しています。

現在チームの2大目標はS/JリーグⅢ1部昇格と全日本実業団ベスト64以上。今年度は3年ぶりに開催予定のこれらの全国大会に向け、日々努力しています。目下の悩みは部員の高齢化ですが、幸いにも実力のある新人をなんとか獲得できており、ベテランの経験と若手の向上心を融合させたチームの味を生かしてレベルアップしていきたいです。チームの若返りに協力したい、という学生諸君、是非弊社への就職をご検討ください！

（豊田自動織機 バドミントン部マネージャー 石野尊弘）

市町村だより

知多市スポーツ協会バドミントン連盟

令和4年5月8日（日）メディアス体育館ちたにおいて、第95回知多市民バドミントン大会が開催された。参加人数は一般22組、小学生54名。熱戦が繰り広げられた。

種目	優勝	準優勝
男子ダブルス1部	浅井貴大(つつじ) 井上智晴(つつじ)	樋渡邦弘(八幡) 鈴木陵麻(八幡)
男子ダブルス2部	御園豊(新知BC) 浜野真光(新知BC)	木村真惇(佐布里) 工藤邦晶(佐布里)
男子ダブルス3部	松本永遠(知多) 浦西哲平(知多)	岩本常寿(ドリブン) 久野雅巳(ドリブン)
女子ダブルス1部	原田房江(ほたるいか) 松浦晴美(ほたるいか)	
女子ダブルス2部	川村由里子(ありんこ) 金本敦子(ありんこ)	山田かねみ(旭桃ステップ) 深川みゆき(旭桃ステップ)
女子ダブルス3部	浅井佐友里(つつじ) 田中直美(つつじ)	
6年生男子シングルス	勝崎慶(旭北J)	山下蓮桜(知多J)
6年生女子シングルス	市来咲良(八幡)	牛田柚子穂(旭北J)
5年生男子シングルス	豊田快斗(八幡)	高橋翔太郎(知多J)
5年生女子シングルス	濱野光沙(新知)	細貝果布(八幡)
4年生シングルス	松本あすな(知多J)	竹ノ下大吾(知多J)

審判連載 ルールブック講座

第4回「プレーヤーの汗」 池上 信之

『公認審判員規程』に『マッチ中の主審が処理すべき特別な状況』が7つあります。そのひとつが「プレーヤーの汗について」第5条第9項⑥『プレーヤーが汗をかき、その汗を払い、散らしたりした場合、またはそれ以外の行為でコートやその周辺を汚している場合、主審はプレーヤーに対して、そのような行為は決して容認できるものではないことを留意させなければならない。必要ならば競技規則第16条第7項にそって適切に対処する』とあります。プレー中、汗を手などで拭き、コートに散らす行為は、警告(イエローカード)の対象となります。これから暑くなります。何気なくやってしまうように、注意しましょう。

連盟NEWS

実業団バドミントン連盟

今年度の前期リーグ戦もコロナ感染症が収まらないため、参加希望チームを募り代替大会として交流リーグ戦大会を開催した。

男子は26チーム、女子は4チームが参加。昨年まで2複1単で実施していたが、今回は2複3単とし、6月に3年ぶりに開催予定の全日本実業団大会を意識した大会となった。男子1部をAブロック、Bブロックと2グループに分け、1位チーム同士が順位決定戦1位、2位を争う方式としたが、JTEKT-AとJTEKT-Bが勝ち上がり、大接戦の末、JTEKT-Bが勝利し1位となった。

女子は東海興業が安定した力を発揮し1位に輝いた。今年度より、男子1部はS/Jリーグトップリーグに3チーム、女子1部も1チーム所属することが決定しており、各対戦は非常にレベルの高い試合が繰り広げられた。6月の全日本実業団大阪大会で、愛知県代表チームが上位進出につながる実践練習の大会になったと信じ、期待したい。

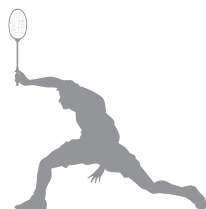
また、この大会がファンの皆様に再び観戦いただける日を心待ちにしている。

学生バドミントン連盟

主な活動は大会運営ですが、今年度早々の4月4日～10日、23日、24日に行った第135回東海大学・第70回東海学生バドミントン選手権大会をコロナの影響により大会途中で中止せざるを得なくなっていました。

その反省を生かし6月6日～10日に石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで行われる第71回中部大会・第70回中部学生バドミントン選手権大会は、感染予防対策を徹底し大会を円滑に運営できるように取り組んでいきます。

また7月、8月、9月と大会が続くので、この先も感染状況を考慮しながら、適切な判断と対応を心がけます。



中小学校体育連盟バドミントン部

5月4日、5日にメディアス体育館おおぶで県中学生大会を開催しました。昨年に比べ出場者数を増やし、それに伴い、感染症対策をこれまで同様しっかり行うことで、無事に大会を終えることができました。

参加した選手たちは、新人大会のときより身体的にも精神的にも成長していると感じました。また、新1年生の活躍する姿も印象的でした。

3年生にとっては最後の大会が近づいています。1日1日を大切に、向上心をもって練習してください。その成果が発揮されることを期待しています。

小学生バドミントン連盟

5月14日、15日に「第23回ダイハツ全国小学生ABC大会愛知予選会」を行いました。例年、単日開催でしたが出場選手が多く、今年度は2日間にわたって行いました。今回、特に目を引いたのがCクラス。男子決勝の河村選手(大里東ジュニア)vs鈴木選手(ハシルトン)。鈴木選手は1年生とは思えない堂々としたラリーをみせ、2年生の河村選手はまるで高学年かと思わせる攻撃力とフットワーク。熱戦の末、河村選手が勝利。

女子決勝の宮下選手(SGUジュニア)vs牧田選手(はりーあっぷ)の試合も、宮下選手がスマッシュで1点を取ったかと思うと牧田選手がヘアピンで1点を取り返すなどお互い1歩も引かない試合展開だったが、最後は17対15で宮下選手が勝利を収めました。



男子Aクラス6年
彦田煌
西尾ジュニア



男子Bクラス4年
玉城春真
西尾ジュニア



男子Cクラス2年
河村宣親
大里東ジュニア



女子Aクラス6年
櫻尾雫
大里東ジュニア



女子Bクラス4年
松井理紗
めだか豊橋バドミントン
スポーツ少年団



女子Cクラス2年
宮下蒼夏
SGUジュニア
バドミントンクラブ

レディースバドミントン連盟

5月17日～19日、24日～25日の5日間、露橋スポーツセンターで、第32回愛知県レディースバドミントン大会（個人戦）を開催した。

優勝	優勝	準優勝
1ブロック 岩間和美・百丸恭子(刈谷・名古屋)	阿久津直美・山本愛子(名古屋・半田)	
2ブロック 長田朋・山本万智(大府)	野田美奈子・軒村律子(岡崎)	
3ブロック 池辺美由紀・藤井亜希子(名古屋)	加藤悦子・八木裕美(名古屋)	
4ブロック 森田華奈恵・松岡久美子(岡崎)	立山由夏・寺本明日香(あま)	
5ブロック 横山元美・金本敦子(豊田)	高岡智津子・熊沢亜紀奈(東郷)	
6ブロック 坂本真土加・安井有香(刈谷)	大西慶子・本多和泉(名古屋)	
7ブロック 木村優子・服部真紀子(名古屋)	今村恵子・鳥居まゆみ(安城)	
8ブロック 後藤寛子・野崎幸恵(碧南)	住田明美・高橋理恵(半田・大府)	
9ブロック 横地千鶴・遊佐真弓(名古屋)	松本江里子・澤木亜希子(岡崎)	
10ブロック 島莉那・渡辺敬代(稲沢)	松原訓子・小関幸子(豊田)	
11ブロック 小林紀子・市川美希(名古屋)	高橋郁子・平林知華(一宮)	
12ブロック 高橋ゆかり・大野幸枝(稲沢)	安田文子・清水美和子(豊田)	
13ブロック 鈴木希世美・坪井かおる(安城)	河合和代・前田美樹(一宮)	
14ブロック 佐藤美穂・清水智子(知立)	掛布千波・服部理恵子(江南)	
15ブロック 川田香・岩尾智子(名古屋)	植村ちずる・都築静子(安城)	
16ブロック 神谷恵・山本妃富美(春日井)	安藤美香・三島喜代美(一宮)	
17ブロック 井上夏子・横井博美(名古屋)	垣見亜沙美・近藤裕美(大治)	
18ブロック 墨安希子・松山智加(蒲郡)	戸川美奈子・日野尚子(稲沢)	
19ブロック 今村直子・小林友美(名古屋)	太田智子・楠名麻紀(小牧)	
20ブロック 岩坂照恵・水野潤子(豊田)	大嶋育子・大洞なぎさ(春日井)	
21ブロック 井川久代・堀場美香子(名古屋)	中森孝子・武田貴子(江南)	
22ブロック 斉藤久子・藤野和加奈(知立)	石原千春・寺島葉子(名古屋)	
23ブロック 前田真紀・東野典子(稲沢)	長坂孝子・天池悦子(一宮)	
24ブロック 辻陽子・牧野恵子(蒲郡)	早川久美・亀山朋恵(名古屋)	
25ブロック 小澤智香子・高橋紅美子(江南)	谷口純子・西尾雅子(尾張旭)	

高等学校体育連盟バドミントン部

5月末に行われた総体県予選の裏で、初の試みとしてダブルスBトーナメントが開催されました。この大会は各地区予選において、あと一步で県大会出場を逃した選手たちを対象に実施したものです。男女とも、どの選手も力が拮抗しているので1回戦から白熱した試合が続きました。正規の県大会に出場した選手も含めほとんどの3年生にとって高校生活最後の試合となりました。入学当初から新型コロナに翻弄された学年でしたが、最後まで努力を続けた選手たちに拍手を送りたいと思います。

優勝

男子 小林健輝・深谷良太郎(名古屋)
女子 川島千裕・大串美百奈(中部大春日丘)

6月には豊橋市で東海総体、8月には徳島県で全国総体が開催されます。県を代表して出場する選手たちに声援をお願いします。

連絡
投稿

〒477-0033 東海市中の池6丁目2-27
広報委員長 上枝 伸
携帯 090-2938-2868

委員会NEWS

選手強化委員会

令和4年度 第1回愛知県中学生バドミントン交流練習会

「持続的な中学生強化」をテーマに、今年度も中学生交流練習会を5月7日、豊川市総合体育館で開催しました。男子41名、女子52名が参加。

当日は、豊田通商女子バドミントンチームによるスパーリング指導を受けました。5月初旬とは思えない暑さの中、ジュニア選手との交流に、終日費やして頂いたことを心から感謝いたします。



豊田通商女子バドミントンチームと参加選手

審判委員会

皆さんが選手として試合に臨む際、「オンマイライト・○○さん…」のコールを聞くと少し緊張されるでしょうか？実は主審も同じです。選手、応援団及び観客の皆さんに最後まで満足いただける試合にするため「マッチ・ワンバイ□さん、2-×」と試合終了のコールをするまで、緊張は続きます。選手の皆さんと交わす握手から感謝の気持ちを感じられた時が、緊張感から解放され「無事に出来て良かった」とホッとする嬉しい瞬間です。白熱した試合であったならば、尚更のこと。また格別です。

そんな熱い試合の主審をやってみませんか？

編集後記

コロナ禍により中止が相次いだ各大会も、今年度は3年ぶりに開催される大会が増えてきました。Google健康チェックやクラウドオーダーなど新しいシステムも導入されています。これからのスタンダードになっていくのでしょうか。県内では9月の全日本社会人、11月のS/Jリーグ、12月の東海ジュニアオープンと注目される大会が続きます。広報として取材する機会も多くなり嬉しい限りですが、選手のプレーに見とれていてつい取材を忘れてしまい、後から選手を追いかけることも…注意しなくては！(広報委員 鈴木勝男)

公式サイトアドレス
<https://www.badminton-aichi.com/>
Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com

